

**K. INTERNATIONAL SCHOOL TOKYO**



# ADMISSIONS HANDBOOK

2019 – 2020

(2018年10月 – 2019年9月まで有効)



A CIS-accredited IB World School

Copyright © 2018 K. International School Tokyo

# 学校の方針

## ミッション

ケイ・インターナショナルスクール東京は、文化的社会的に多様な背景をもった学習意欲のある子どもたちに、安全で人を支える環境の中で、質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成する。

## ビジョン

ケイ・インターナショナルスクール東京は、すべての学習者が学問において優秀さを示し、他を思いやる気持ちを持ち、平和でより良い世界を作ることに関与することを求めます。

## 信条

ケイ・インターナショナル東京は以下を信条とする:

1. 各人は、学校コミュニティの一員として、学校のミッションとビジョンを尊重し、信条に従って献身的に関わることを求められる。
2. 安全で人を支える環境とは、尊敬と秩序、寛容と思いやりを生むものである。
3. 質の高い教育とは、学問的優秀さと国際理解、ならびに人格型成と生涯学習を促進するものである。
4. 教育は、生徒、保護者、学校の相互の協力によって成り立つものである。
5. 文化の多様性は、本校のコミュニティを豊かにすると同時に世界への理解を深める。
6. 国際的な視野を持つには、多様で豊かな文化が世界中のすべての地域に存在していることを認識し、各文化のさまざまな信条や伝統に対して寛容を示すことが不可欠である。
7. ホスト国である日本の言語、慣習、伝統、文化的信条は学習経験を豊かにする重要な資源である。
8. 生徒の将来への準備のために、学校全体に繋がっている包括的国際カリキュラムが不可欠であり、学校はこれを定期的に審査する。
9. グローバル市民にはテクノロジーの知識とスキルの習得が必要である。しかしながら、実社会では外からの援助なしに自立して敏速に決断し行動する能力が不可欠であり、テクノロジーに依存しないコアとなる知識やスキルを習得することも重要である。
10. 学習の重要な道具となる、言語力及び数学力の発達を特に重視する。
11. 期待値を高く設定することは、しっかりとした学力を身に付けることをサポートし、将来の学問的成功のチャンスを高める。
12. 第一言語以外の言語で学習する生徒は、第一言語で学習する生徒に比べ学習に多くの時間と努力を要する。
13. 母国語の発達と維持は、アイデンティティーや自尊心及び認識能力を育て、究極的には学問的成功を収めるために重要である。
14. いじめやハラスメントのない安全で協働的な学習環境を維持するには、必要な場合に適切な行動をとり、学校全体でサポートすることが求められる。
15. 適切な身だしなみと態度の規範の順守が尊敬に満ちた、責任ある、安全な学校環境を促進する。
16. より多くの生徒が本校での教育機会を得られるよう、金額的な配慮のある授業料の確立・維持及び経済的で効果的な財政管理の維持が求められる。

## K. International School Tokyo

1-5-15 Shirakawa, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0021

Tel: 03-3642-9993 (English); 03-3642-9992 (Japanese) / Fax: 03-3642-9994

E-mail: info@kist.ed.jp / Web: <http://www.kist.ed.jp>

# 目次

はじめに	1
<b>Section 1: KIST について</b>	
1.01: KIST とは？	1
1.02: カリキュラム	1
1.03: 学習重視	1
1.04: 卒業生	2
<b>Section 2: 出願と出願資格</b>	
2.01: 出願	3
2.02: 学年度と授業時間	3
2.03: 出願年齢	3
2.04: 要求される言語力及び学力期待値	4
2.05: その他の必要条件	4
2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学	5
2.07: 再入学申請	5
2.08: 短期入学	5
2.09: 進学及び進級	5
2.10: ウェイティングリスト	5
2.11: 日本国における義務教育について	5
<b>Section 3: 出願方法</b>	
3.01: 選考の手順	6
3.02: 主な入学時期とその出願期間	6
3.03: その他の入学時期とその出願時期	7
3.04: 空席状況	7
3.05: 出願資格	7
3.06: 願書提出	8
3.07: 入学選考	9
3.08: インタビューおよび入学試験	9
<b>Section 4: 合否決定および入学時期延期</b>	
4.01: 合否の通知	11
4.02: 合否区分	11
4.03: 合格条件	12
4.04: 合格受理	12
4.05: 入学時期の延期	12
4.06: 入学後の再審査	13
4.07: 言語再試験の申し込み	13
4.08: 入学試験再受験	13
<b>Section 5: 仮入学（海外在住受験者のみ）</b>	
5.01: 仮入学	14
5.02: 仮入学の出願資格	14
5.03: 出願方法	14
5.04: 選考と合否の通知	14
<b>Section 6: 生徒サポート</b>	
6.01: 英語言語サポート	16
6.02: スペシャルニーズのサポート	17
6.03: 慣らし保育(K1 の生徒のみ)	17
<b>Section 7: 保護者</b>	
7.01: 保護者のサポート	19
7.02: スクールサポートプログラム(SSP)	19
7.03: 保護者の関わる学校行事など	20
<b>Section 8: 学費</b>	
8.01: 2019-2020 授業料	22
8.02: 学費減免制度	22
8.03: 支払オプション	22
8.04: その他の費用	24
8.05: 授業料に含まれているその他のサービス	25
8.06: 支払い遅滞のペナルティ	26
8.07: 授業料の割引	26
8.08: 返金規定	26

## はじめに

ケイ・インターナショナルスクール東京への入学に興味をお持ちいただきありがとうございます。お子さんの学校選びは保護者の皆さんにとって最も大切なことです。どの学校もさまざまな特徴を持っていますので、良くお調べ頂き、ご家庭の価値観に合った、お子さんにとって最適な学校をお選びいただきたいと思います。

生徒に可能な限り最善の教育環境を提供するために、当校では入学に関してこのハンドブックに示すような基本方針と手順を定めています。願書をご提出になる前に保護者の皆様には当校について、またその目指すもの、および展望についてご理解頂くことが不可欠だと思っています。願書提出にあたり、このアドミッションハンドブックをお読み下さい。願書の提出は保護者の皆さまがハンドブックを読み、述べられている当スクールのポリシーと手続きに従うことに同意したことを示します。

## Section 1: KIST について

### 1.01: KIST とは?

ケイ・インターナショナルスクール東京(KIST)は 1997 年に創立された、特定の宗教を基盤としない、普通教育を提供する 3 歳児から高校までの私立男女共学のインターナショナルスクールです。KIST はインターナショナルスクール会議(CIS)の認可校です。また、東京都より学校法人の認可も取得しています。

KIST は、私達のミッション、ビジョンと信条、学習プログラムに強く賛同し、「国際的な心を持った」ご家庭からの、学習意欲の高い生徒を歓迎します。生徒が大人になった時の準備のために、KIST は伝統的な価値観、トレーニングにより確立された指導方法、バランスの取れた健康的なライフスタイルを通して、学問的向上を促進する骨組みの中で、安全で思いやりのある環境を作り上げることを目標として努力しています。在籍中全ての生徒は制服を着用し、学校の服装の決まりに従い、きちんとした身なりを維持することが求められます。また、他の生徒の学習の妨げにならず、学校の名に恥じない適切な行動を取らなくてはなりません。

KIST の生徒は、卒業後も「生涯学ぶ」ということに対して高い向上心と願望を持っています。生徒達は高い志と、熱心なボランティア精神とを持ち、助けを必要としている人を助けたいという気持ちを示し、行動を起こすことで世界を変えられると信じています。このため KIST では成功をおさめるために、生徒たちは常にベストをつくすことが求められ、保護者の皆さんにも生徒たちと学校に対し、十分なサポートを行っていただくようお願いしています。

現在、KIST には約 50 か国出身の 650 名ほどの生徒が在籍しています。その内、約 20%がアメリカ・オセアニア・英国・カナダ、8%がアフリカ・ヨーロッパ・中東・南アメリカ、18%がインド・パキスタン・バングラデシュ、29%が日本、25%がその他アジア諸国の出身者です。また、多くの生徒が多重国籍を有しています。

### 1.02: カリキュラム

当校の 3 歳から 19 歳の生徒すべての学習プログラムは、独立した国際組織である国際バカロレア(IB)のカリキュラムに準拠しています。K1 から G5 はプライマリー・イヤー・プログラム(PYP)、G6 から G10 はミドル・イヤー・プログラム(MYP)、G11 から G12 は、世界中の大学の入学資格として広く認識されているディプロマ・プログラム(DP)に基づいています。2018 年 9 月の時点で、IB 校は世界中で 4,943 校存在し、100 万人以上の生徒が IB カリキュラムで学習しています。KIST は上記 3 つの IB プログラム全ての認定を受けた、関東地区で最初、日本で 2 番目の学校です。

特に、学力的な難易度が高いということで知られ、16 歳～19 歳を対象に大学入学資格を付与するディプロマプログラム(DP)では、6 つの必修科目でディスカッション形式の授業が行われ、レポートの提出が頻繁に要求されます。また、科目以外にも研究調査を基にした Extended Essay(課題論文)、哲学的な思考を求める Theory of Knowledge(知識の理論)、社会性を養うための Creativity, Action, Service(創造性・活動・奉仕)といった修了要件があり、非常に高い知的思考が求められます。この高度な教育内容のため、IB ディプロマで高い結果を修めた生徒は、世界中の大学への入学時に単位を与えられたり、給付型奨学金の対象になることも珍しくありません。

IB の 3 プログラムの詳細は IB 公式サイト <http://www.ibo.org> をご覧下さい。

### 1.03: 学習重視

KIST では一年を通して生徒たちに多彩な課外活動や放課後クラブ、創造的・芸術的な行事など、学習以外の機会も提供しています。しかし、学校としての最終目標は、生徒たちが経済状況や家庭環境にかかわらず、世界中の大学に進学できるよう、ディプロマプログラムでの高得点の獲得です。そのため、学力、特に英語と数学に特別力を入れています。出願される前に、ご家庭で KIST の教育方針や目標がお子さんに求めておられるものにあっているかをしっかりとご検討ください。

KIST の教育方針の理由や、その利点については学校ウェブサイト <http://www.kist.ed.jp> の“Founder’s vision”(創立者の理念)をご覧ください。

## 1.04: 卒業生

KIST では 2006 年に 1 回目の卒業生を送り出し、10 回目の卒業生を送り出した 2015 年から 4 年連続で日本の IB 校において DP 合格者平均点でトップの成績を納めています。2017 年及び 2018 年には合格者平均点 38 点(45 点満点中)という非常に素晴らしい結果を出し、日本のみならず世界でも有数の高成績を出す学校となりましたことを大変誇りに思っております。

KIST の卒業生たちは皆高い目標を持ち、より高い知識を習得するため、自分の目的に最もあった大学に進学しています。以下は進学先の一部です。

### USA

スタンフォード大学(4年間学費全額免除) | プリンストン大学(4年間学費全額免除) |  
ペンシルバニア大学 | シカゴ大学 | カリフォルニア工科大学 |  
ボストン大学(4年間学費全額免除) | カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA) |  
ミシガン大学 | ミネソタ大学

### カナダ

マギール大学 | ブリティッシュコロンビア大学 (UBC) | トロント大学

### UK

ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE) | インペリアルカレッジロンドン | キングスカレッジロンドン |  
セントアンドリュース大学 | セントジョージズ・ロンドン大学(医学部) |  
ユニバーシティカレッジロンドン (UCL)

### 日本

東京大学 | 岡山大学(医学部) | 名古屋大学 | 慶応大学 |  
早稲田大学 | 国際基督教大学 (ICU) | 順天堂大学(医学部) | 上智大学

### 韓国

ソウル大学 | 延世大学(医学部) | KAIST

### その他

香港大学 | 香港科技大学 | イェール NUS 大学(4年間学費全額免除) |  
ニューヨーク大学アブダビ校(4年間学費全額免除)

大学合格・入学実績の完全版はウェブサイト <http://www.kist.ed.jp> をご覧ください。

## Section 2: 出願と出願資格

### 2.01: 出願

KIST では、人種、国籍、民族、宗教、性別、社会的背景にかかわらず、あらゆるお子さんの入学の出願を受け付けています。ただし専門家がおりませんので、特別な学習ニーズをお持ちのお子さんの願書は受け付けておりません。

真に国際的な学校を維持するために、当校ではあらゆる国籍を持つ生徒を受け入れています。多様性を推進するために、Grade 1 以上のクラスでは生徒の国籍のバランスをとるよう努めています。また、各学年での生徒の英語能力のバランスを考慮し、国籍や言語(母語)グループの多様性を確保すると同時に、学校内での指導言語としての英語のポジションを崩さないようにしています。また、各クラスでの男女比率のバランスにもできるだけ考慮しています。その他、入学選考にあたって考慮する諸要件については願書提出の項目を参照下さい。

### 2.02: 学年度と授業時間

KIST の学年度は 8 月中旬に始まり 6 月中旬に終わります。学習プログラムや成績表は 2 学期制(セメスター)をとっています。

- セメスター1: 8 月から 1 月
- セメスター2: 1 月から 6 月

授業時間は以下のとおりです。

曜日/学年	K1 – Grade 5	Grade 6 – 12
月曜日	8:45 – 2:35	8:45 – 2:45
火曜日、水曜日、木曜日、金曜日	8:45 – 3:25	8:45 – 3:40 <sup>1</sup>

<sup>1</sup> G6~G12 では生徒によっては、始業前 8 時 10 分から、もしくは放課後 4 時 30 分まで授業がある場合があります。

### 2.03: 年齢資格

KIST の新学年度は 8 月中旬からとなります。7 月 31 日を各学年の年齢区切りとしております。次表でお子さんの適格学年をご確認下さい。

学校区分	学年	年齢	誕生日
エレメンタリースクール	K1 <sup>1</sup>	3	2015 年 8 月 1 日 – 2016 年 7 月 31 日
	K2	4	2014 年 8 月 1 日 – 2015 年 7 月 31 日
	K3	5	2013 年 8 月 1 日 – 2014 年 7 月 31 日
	Grade 1	6	2012 年 8 月 1 日 – 2013 年 7 月 31 日
	Grade 2	7	2011 年 8 月 1 日 – 2012 年 7 月 31 日
	Grade 3	8	2010 年 8 月 1 日 – 2011 年 7 月 31 日
	Grade 4	9	2009 年 8 月 1 日 – 2010 年 7 月 31 日
	Grade 5	10	2008 年 8 月 1 日 – 2009 年 7 月 31 日
セカンダリースクール	Grade 6	11	2007 年 8 月 1 日 – 2008 年 7 月 31 日
	Grade 7	12	2006 年 8 月 1 日 – 2007 年 7 月 31 日
	Grade 8	13	2005 年 8 月 1 日 – 2006 年 7 月 31 日
	Grade 9	14	2004 年 8 月 1 日 – 2005 年 7 月 31 日
	Grade 10	15	2003 年 8 月 1 日 – 2004 年 7 月 31 日
	Grade 11 <sup>2</sup>	16	2002 年 8 月 1 日 – 2003 年 7 月 31 日
	Grade 12 <sup>3</sup>	17	2001 年 8 月 1 日 – 2002 年 7 月 31 日

<sup>1</sup> K1 の入学希望者は 7 月 31 日までに満 3 歳になっている必要があります。

<sup>2</sup> 11 年生への編入は 9 月 30 日まで受け付けます。

<sup>3</sup> 12 年生への編入は IB 校からの編入で、履修している IB ディプロマの科目が KIST の科目と一致する場合にのみ受け付けます。

子どもは同年齢の他の子どもたちと交流するのがベストであるという思いから、学校としては上記の誕生日に基づく適格年齢のグループを可能な限り維持したいと考えています。K1 についてはいかなる理由があっても年齢に達していない生徒の入学は認めていません。K2 と K3 については、特別な理由がある場合は、誕生日が規定期間を多少前後する場合でも例外的にその学年への出願を認めることはありますが、生徒の観察、前の学校での学習経験内容や先生の推薦状などを考慮し、学年を決定します。通常の入学手続きの他に観察や試験が課せられることがあります。

なお、K1 から K3 に入学希望の生徒は入学日までにトイレトレーニングを完了していなければなりません。

G1 から G10 までについては、前の学校での成績、学校に通った年数、学力レベルによって最高 1 年まで生徒の適格年齢の上あるいは下のグレードへの願書提出を考慮することがあります。そのような場合はその理由を願書に書き、証拠となる文書を添付して下さい。

セカンダリースクール G11 及び G12 では、適格年齢を最大で 2 歳上回る年齢または 1 歳下回る年齢の生徒の出願を検討対象といたします。

適格年齢でない入学希望者については保護者の方との話し合いを通して慎重に検討させていただきますが、学校がお子様の学習の向上に有害であると判断したり、教員や同じクラスの他の生徒にとって適切でないと判断した場合は要望にお応えできないことがあります。

受験者が当校の年度終了間近(例:4月や6月)から入学を希望する場合、当校が定める年齢資格学年度を飛ばした上の学年に願書を提出できません。例えば3月に他の学校でG3を終了する生徒が4月からKISTに入学を希望する場合G4ではなくG3に願書を提出することになります。G3を終了してから初めて翌学年度である8月からG4に進級します。出願にあたりこのことを念頭において下さい。

## 2.04: 要求される言語力及び学力期待値

KIST は様々な国や文化的背景を持つ生徒で構成されており、生徒はまた様々な違った言語を話します。生徒が一つの言語を媒体として一緒に学ぶため、当校は指導言語を英語としています。幼少の子どもを除き、入学にするにあたり生徒はすでに一定の英語レベルに到達していなければなりません。セカンダリースクールに出願する生徒は英語で専門科目を学ぶため高いレベルの英語力が求められます。特にコース学習上の特質から、G8 及びそれ以上の学年では言語サポートの必要な生徒の入学はお断りします。また、G10 から G11/12 のディプロマプログラムには大学レベルの高度な学習内容が含まれるため、G10 から G11/12 へ進学する生徒は、高い学力が求められます。東京に在住、または長期滞在しており、本校への G11/12 からの出願を検討されているご家族には、生徒が G11 からの DP を履修し成功するために必要な事前知識やスキルをしっかりと身につけられる時間を提供するためにも、早い段階・学年での出願を強くお勧めいたします。

## 2.05: その他の必要条件

### 居住地について

KIST には寄宿設備はありません。住まいは各ご家庭でご手配下さい。ホストファミリーのご紹介も出来ません。KIST では、たとえ短期間であっても生徒の一人暮らしを認めていません。お子さんが両親と離れ、保護者あるいはホストファミリーと日本で暮らす場合、保護者あるいはホストファミリーはスクールでのインタビューを受けなければなりません。これはお子さんの日本での生活準備状況や KIST の提供するプログラムの学習についてお子さんが十分にサポートを受けられるかを確認するためです。

### ビザについて

関係政府当局にビザを申請するのは個々のご家族の責任です。しかし、ご依頼により KIST では入学が確定している生徒のビザ申請に必要な**在学(入学)証明書**(有料)の発行可能です。しかしながらそれ以上のお手伝いはできません。ビザの発行まで学校を長期間欠席すると学習に支障をきたしますので、必ず余裕を持った手続きをしてください。

また、両親と離れて暮らす生徒は出願の際にビザのコピーを提出しなければなりません。入学試験に合格しても、適切なビザが取れていない場合は条件付きの合格となります。ビザを入手し、コピーをオフィスに提出して初めて正式な合格となります。一定期間内にビザが取得できない場合は合格取り消しとなる場合があります。

---

## 2.06: 在校生の兄弟姉妹の入学

---

在校生の兄弟姉妹であっても、通常の受験者と同様の選考が行われます。しかし、すでに在校生がいる保護者の方は特に学校の要請がない限り保護者インタビューはありません。度重なる支払遅滞や保護者の方のサポート並びに学校行事への参加の度合いなどが入学審査にあたり考慮され、可否結果に影響を及ぼすことがあります。

---

## 2.07: 再入学申請

---

過去に KIST に在学していた元生徒が再入学を希望する場合も通常の選考手順となります。入学検定料や必要書類 (KIST から以前に出された成績表は除く) についても同様です。元生徒は一般受験生と同じテストを受けなければなりません。しかし、学校の要請がない限り保護者の方のインタビューはありません。

なお、退校後 3年以内に再入学が認められた場合は、入学金と施設拡張費の減額規定が適用されます。

---

## 2.08: 短期入学

---

KIST でのカリキュラムは長期の学習を想定しているため、短期入学はお勧めしませんが、申し込みについてはその必要性和空席状況に基づき考慮されます。一般授業料は月ベース比例配分となりますが、その他の費用の減額はありませぬ。ただし、4 月から 6 月の入学の場合に限っては施設維持費が減額されます。学校の制服(夏用と冬用: 季節による)と PE の上下ユニフォームはご購入頂きます。出願をされる前に必要な費用についてご承知おきください。

---

## 2.09: 進学及び進級

---

KIST では生徒が次学年へ進級、または次プログラムへ進学 (K3 から G1、G5 から G6、G10 から G11) する際の基準を設けています。進学審査では以下を含む点が考査されます。

- 社会性の発達
- 保護者のサポートと協力
- 心身双方の健康状態
- 上級プログラムで学習できる学力
- 学習意欲、学習態度、生活態度

上記考査項目が進学に際し十分なレベルに到達していないと判断された場合、サマースクールや始業前または放課後の補習への参加、個人チューターを付けること、コース変更、留年や退学を求められます。

飛び級のご依頼は、保護者とその依頼の正当性を証明することができる特別な場合を除き、通常は検討されませぬ。

---

## 2.10: ウェイティング リスト

---

KIST では、入学試験とインタビューで合格したにもかかわらず入学希望のクラスに空きがない場合、ウェイティングリストに名前が載ります。ウェイティングは G10 までが対象となります。ウェイティングリストには、生徒がインタビュー及び試験を終了しない限り載せることは出来ませぬ。

---

## 2.11: 日本国における義務教育について

---

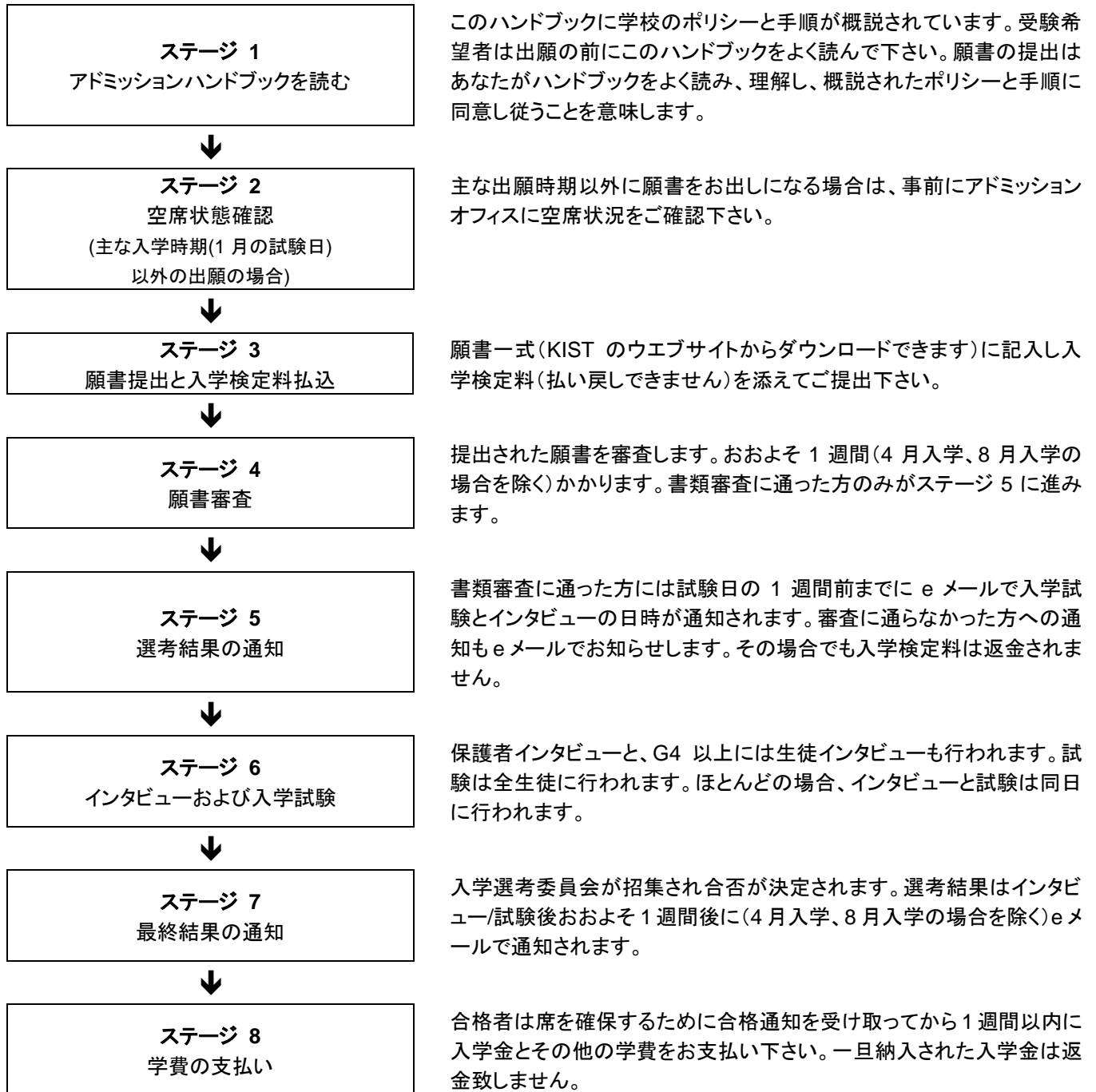
日本国籍を持つ保護者は、その子ども(国籍に拘わらず)が義務教育期間に該当する場合、学校教育法の定めにより就学させる義務を負っています。しかしながらその義務教育期間を KIST のようなインターナショナルスクールに就学させたとしても、法律で規定された就学義務を履行したことになりません。



## Section 3: 出願方法

### 3.01: 選考の手順

以下に示すとおり、選考手順の一部として出願は様々な段階を経て進みます。



願書は入学希望日の学年度の最終日まで有効です。学年度の最終日までにステージ 6 まで進めなかった場合(空席がないため選考試験を行えない場合)、願書は自動的に無効となります。

### 3.02: 主な入学時期とその出願期間

主な入学時期は、新学年度がスタートする 8 月からです。また、空席があれば 1 月あるいは 4 月からでも可能です。次の表は主な入学選考時期についてのスケジュールです。通知無く日程が変更されることがありますのでご注意下さい。次学年度 1 月以降の入学予約については受け付けておりません。

2019年1月からの入学希望者(2018 – 2019 学年度)	
入学願書受付期間	2018年10月15日(月) – 11月16日(金)
入学選考試験及びインタビュー	2018年11月29日(木)
選考結果通知日(eメールにて)	2018年12月6日(木)
学費納入締切日	2018年12月13日(木)

2019年4月からの入学希望者(2018 – 2019 学年度)、または2019年8月からの入学希望者(2019 – 2020 学年度)	
入学願書受付期間	2018年10月15日(月) – 2019年1月7日(月)
入学選考試験及びインタビュー	<b>Grade 1 – 12:</b> 2019年1月22日(火)、23日(水)、24日(木) <b>K1、K2、K3:</b> 2019年1月25日(金)
選考結果通知日(eメールにて)	2019年2月12日(火)
学費納入締切日	2019年2月19日(火)(2019年8月入学のK3を除く) 2019年3月1日(金)(2019年8月入学のK3のみ)
追加募集	2019年2月13日(水)より空席がある場合受け付けます。

上記の二つの異なる入学時期を同時に受験することはできません。つまり、1月入学を希望するのか、4月あるいは8月入学を希望するのかのどちらかをあらかじめ決めていただかなければなりません。したがって、出願者は12月の試験(1月入学)と1月の試験(4月または8月入学)の両方を受けることはできません。さらに1月入学に出願され、「不合格」または「ウェイトिंग」となった場合、その後6ヶ月間は8月入学(次学年度)のための試験を受けることはできません。上記に願書受付期間前にお子さんがウェイトिंगとなっていた場合のみ、ご希望であれば8月入学のための再試験を受けることができます。最初のウェイトING期間中に空席が出た場合は、再試験の入学検定料は返金いたします。

### 3.03: その他の入学時期とその出願期間

主な入学時期(3.02)以外でも空席がある場合は年間を通して願書の受付をしております。その場合願書提出から最終決定までおおよそ3週間かかります。書類選考を通った方のみインタビューと入学試験を受けます。インタビューと入学試験は通常毎週木曜日の午前中に実施されます(祭日ならびに学校の行事がある場合を除きます)。書類選考を通った受験者に最短の試験日をご案内しますが、願書提出のタイミングと受験者の数により受験日までの期間は異なります。試験の詳細はeメールで試験の1週間前位に送られます。

### 3.04: 空席状況

主な入学時期(3.02)以外に出願される場合は、願書を提出する前に空席状況をご確認下さい。学校へお問い合わせの際、お子さんの生年月日、両親の国籍、お子さんの教育的背景についての情報、そして一般的英語力をお聞きします。当校のポリシーである、生徒の男女比率、国籍、英語力のバランスを維持するために、クラスに空席があってもすぐにお子さんの席をご用意できないことがあります。このような場合、書類選考、インタビューそして入学試験に合格しても、お子さんが空席待ち(ウェイトING)のリストに載り席が空くのを待つことになるのをご承知の上で願書をご提出になるかをお決め下さい。ただし英語力については、お子さんが試験を受けるまでそのレベルを判断するのは不可能なため、試験の結果お子さんが言語サポートが必要と判断され、かつクラスに言語サポートの空席がない場合、お子さんはウェイトINGリストに載ることになります。

空席状況は在校生家族の移動などにもより、常時変わりますのでご注意ください。空席状況を確認後、願書の提出が遅れると願書が当方に届いた時点で状況が変わっていることがあります。さらに事前お問い合わせの際に空席があったとしても、実際の出願者数が空席数を超えた場合は、出願者全員が合格できるとは限りませんのでご注意ください。

### 3.05: 出願資格

願書他、提出を求められた文書は全て入学希望者の責任でご用意下さい。入学検定料をお支払い頂き、全ての文書が提出されるまで選考手続きには入りません。

#### 提出書類

以下に挙げるものを提出して下さい。

- 願書(セクション1–7) スクールウェブサイトから入手可能。
- 生年月日を証明できるもの(出生証明書のコピーまたはパスポートの生年月日のページ)
- 直近に撮影されたパスポートサイズの顔写真(願書に貼り付け)
- 家族写真(お返ししません)

出願者のご家族が写っているものであれば、正式な家族写真。スナップを問わず受け付けます。

- **入学検定料** (返金不可) 20,000 円 (振込を証明するものを提出してください)

追加必要書類:

- **成績証明書**

- **G3 以上の入学希望者:** 過去 3 年分の成績表。学校の印の押された正式なコピーでなければなりません。入学申込者の学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに送るか、学校印の入った封筒に厳封されたものを他の必要書類と共にご提出下さい。先生からのコメントのある詳細な成績表が望まれます。
- **G2 以下の入学希望者:** 入手できる全ての成績表のコピー。学校から発行される正式なコピーでなくても構いません。

- **学校調査票** (G2 以上のみ)

KIST ウェブサイトから入手可能。入学希望者の現在通っている学校に前もって記入を依頼して下さい。これは機密文書ですので学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに送っていただくか、他の出願書類と一緒に封筒に入れて学校印で封印されたものを提出してください。

- **パーソナルステートメント** (G8 以上の入学希望者のみ)

KIST ウェブサイトから入手可能。入学希望者自身が英語で自筆の上、その他提出書類と共にご提出下さい。

- **共通試験の結果のコピー** (受けている場合)

- **ビザの証明書** (両親と日本で同居していない日本国籍以外の生徒のみ)

### 願書提出の一般条件

- 写真を含むご提出物は結果の如何を問わずお返し致しません。
- 入学申込書(セクション 1-7)はホチキスで留めないで下さい。
- 全ての提出文書は読みやすい、はっきりとした文字(英語のみ)でボールペンまたは万年筆で書いて下さい。KIST は間違い、あるいは不明瞭な連絡先による間違いには責任を負いません。
- 成績表は全て英語で記載されたもの。必要な場合は英訳をして下さい。翻訳の手配は各ご家庭でお願いします。学校からの正式な成績証明書は学校から直接当校に送るか、もしくは学校印の封筒に厳封されたものを提出してください。全ての成績表の提出がないと選考手続きには入れません。
- 願書および全ての提出文書は A4 標準サイズの用紙(210mmx297mm)でご提出下さい。(写真を除きます) アメリカンレターサイズの用紙は提出前に必ず A4 サイズに変更してください。
- KIST を受験される際には、学校から配信される情報が見ることが出来るよう、ご家庭にコンピューターで e メールが受信できる環境が整っていることが必要条件です。出願の際に、学校からの連絡を受け取ることができる e メールアドレスを知らせていただきます。
- あなたのお子さんが前に受けた教育について全ての情報をご用意ください。同時に、何か特別な学習に関する問題がありましたら、その詳細もお知らせ下さい。願書提出時に判っていたことを明らかにしなかった場合、合格を見直しあるいは取り消すこともあります。

### 3.06: 願書提出

願書は郵送あるいは宅配便にて下記までお送り下さい。あるいはスクールオフィスまでお届け下さい。ファックスおよび e メールによる提出は受け付けておりません。

ケイ・インターナショナルスクール東京

入学担当者あて

東京都江東区白河 1-5-15

郵便番号 135-0021

入学検定料は銀行振込にて以下の口座にお支払い下さい。銀行振込以外は受け付けません。振込手数料は振込時に自身でご負担願います。海外から銀行送金される場合は円建てで手数料引き去り後正額 2 万円をお振込下さい。送金銀行、受取銀行双方の取り扱い手数料が支払の時点で完済されていることが受験者の責任です。間違って不足が生じないように、送金時に銀行にご確認下さい。受領金額が 2 万円に満たなかった場合は、面接時に差額を現金でお支払いいただきます。

#### 入学検定料お振込口座:

銀行名: みずほ銀行(銀行コード 0001)  
 支店名: 本所支店(支店コード 050)  
 住所: 〒130-0026 東京都墨田区両国 4-31-11  
 電話番号: 03-3631-2121 / +81-3-3631-2121  
 口座の種類: 普通預金  
 口座番号: 1937746  
 SWIFT コード: MHCBJPJT  
 口座名義: 学校法人ケイ・インターナショナルスクール  
 略称: ガク)ケイ・インターナショナルスクール

英語名: K. International School Tokyo

入学についてのお問い合わせは入学担当まで月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時の間にご連絡下さい。

- Tel (英語): 03-3642-9993 / +81-3-3642-9993
- Tel (日本語): 03-3642-9992 / +81-3-3642-9992
- Fax: 03-3642-9994 / +81-3-3642-9994
- E-mail: info@kist.ed.jp

### 3.07: 入学選考

もっとも重要なことは、KIST のプログラムと教育環境が、入学を希望される保護者と生徒の期待とニーズに合っていることです。毎年たくさんの方に入学を希望して頂いておりますが、受け入れ可能人数に限られるため、全てのお子さんに入学頂くことは出来ません。当校に適合する生徒を選び、私たちが提供するプログラムで最も利益を受ける生徒を認定するために、願書提出者は全員が選考を受けます。

選考プロセスの段階を通して、以下の評価基準が注意深く検討されます。

組織に関すること:

- 空席の有無
- 年齢の資格
- 国籍、男女比率と英語力のバランス
- 各クラスの受け入れ状況

生徒のバックグラウンド:

- 指導言語が英語で行われるインターナショナルスクールで学ぶ必要性
- 英語で学んだ経歴 (G1 以上の受験者)
- 当校の学習プログラムにふさわしい英語能力
- 当校の学習プログラムにふさわしい算数/数学能力 (G2 以上)
- 身体的発達と十分な社会性 (特に低学年)
- これまで通っていた学校での成績、実績
- 兄弟姉妹の在籍

保護者:

- 国際教育の目的についての理解
- 教育に対する考え方と子供の未来についてのビジョン
- 当校のミッション、ビジョンと信条に心から信頼、賛同していること
- 家庭で子供の成長発達をサポートできること
- 学校の催しや行事をサポートする意志

全ての願書提出者が書類選考にパスするわけではありません。書類選考にパスしなかった受験者は次のインタビューと入学試験の段階に進めません。受験結果については、個々のご質問には一切お答え出来ませんのでご了承下さい。願書の提出はこのポリシーをご理解、同意頂いたことを意味します。

### 3.08: インタビューおよび入学試験

書類選考を通った方は全員インタビューおよび入学試験を受けて頂きます。

#### 1. 保護者インタビュー

保護者へのインタビューは、保護者の方の教育的信念や希望が、本校のミッション、ビジョン、信条とプログラムと合致しているかを確認するためのものです。インタビューは通常他の保護者の方たちとグループによる討論形式となります。参加人数により、30 分から 1 時間程度となります。インタビューは英語または日本語で行われます。ご両親ともに日本人の場合、日本語でのインタビューをご選択ください。英語でも日本語でも意思の疎通ができない保護者の方は通訳をお連れ下さい。その場合は前もって学校にご連絡下さい。すでに受験者の兄弟姉妹が当校在校生である保護者の方と、以前当校の生徒であった受験者の保護者の方は、改めてスクールから要求のない限りインタビューに参加する必要はありません。可能なかぎりご両親での参加をお願いしておりますが、ご都合がつかない場合、どちらか一名でのご参加で結構です。

インタビューでの回答と願書に記載されている情報をもとに、以下に概説された基準に照らし合わせて審査が行われます。

- 国際的教育的に関する国際的な考え方の程度
- KIST のミッション、ビジョンと信条への共感、理解、興味の種類
- 子どもの将来のための教育的見解とビジョンの明快さ
- 家庭で子どもをサポートする能力(精神面、学習面)
- 学校の催しへの参加や、学校のポリシーに従うなど、学校をサポートする意志

## 2. 語学力試験(英語)

語学力試験は、受験する学年のカリキュラムを学習するのに必要な英語力の有無をチェックします。試験内容は以下のとおり該当学年により異なり、所要時間も学年により 1 時間から数時間と異なります。

### ● K1 と K2

試験は教室内での行動観察の形で行われます。お子さんは、お絵描きをする、物の名前を言う、塗り絵をする、数を数えるなど、いろいろなアクティビティに参加します。試験官は様々な活動に参加される中でのお子さんの英語力、または英語(又はその他の言語)への反応、および他の子どもたちとの関わり方を観察します。

### ● K3 およびそれ以上の学年

試験は、多くのインターナショナルスクールで行われている 4 技能:リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの能力を評価する方法をとっています。K3 ではリスニングとスピーキングの 2 つに分かれています。しかし、年度後半からの中途入学の場合はリーディングとライティングのスキルもテストされることがあります。G1 以上の受験者の英語テストは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 つに分けて行われます。学年に合わせて、センテンス、パラグラフ、またはもっと長い文章の音読、絵を見てそのことについてお話を作って話す、質問に答える、単語、センテンス、またはもっと長い文章(たとえば、話の続きを書く、答えを書く、録音されたものを聞いてそれについての質問に答えるなど)を課されることもあります。子どもの現在の英語力を把握するため、試験とそのレベルについてこれ以上の詳細はお知らせできないことをご了承下さい。

試験中、試験官は受験者の集中度や一般的な態度、行動なども観察します。

試験の結果お子さんの英語レベルが受験した学年の学習をするのに十分でない場合、その生徒は言語サポートが必要という判断となります。言語サポートを受けても生徒が受験した学年で学習するには英語力が十分でないと判断された場合は通常不合格となります。

## 3. 数学試験

G2 以上は、英語テストの他、1 時間の算数/数学の試験を行います。試験は以下表にありますとおり、Key Stage あるいは IGCSE の過去問題に類似したものです。

出願時学年	使用試験
2	Key Stage 1 Level 2
3	Key Stage 1 Level 3
4 or 5	Key Stage 2 Level 3 – 5
6	Key Stage 3 Level 4 – 6
7	Key Stage 3 Level 5 – 7
8	Key Stage 3 Level 6 – 8
9-11	Edexcel IGCSE Mathematics B

試験問題に類似した Key Stage 試験の過去問題はこちらのサイト <http://satspapers.org/> よりご確認いただけます。また、IGCSE の数学 B の過去問題は下記のサイトよりご確認いただけます。

<https://qualifications.pearson.com/en/qualifications/edexcel-international-gcses-and-edexcel-certificates/international-gcse-mathematics-b-2016.html>

## 4. 受験者へのインタビュー

G4 以上、また 4 月以降から G3 に入学を希望される受験者には、該当学年の所属する部門の校長とのグループ面接を行います。時間は約 20 分となります。

## 5. 教室での観察

全ての K3 および G1 の受験者には通常の教室で他の子どもとの交流状況の行動観察も行なわれます。

## Section 4: 合否決定および入学時期延期

### 4.01: 合否の通知

合否決定は保護者のインタビュー、受験者の試験結果、そして様々な基準を十分に考慮し決められます。**すべての決定は最終的なもので、交渉や要求に応えることはできません。**合格者は以下に述べるような受験者および家族です。

- 国際的な考え方をもち、国際的教育の目的を理解している
- 当校のカリキュラムを学習していける英語力レベルにある(言語サポートなしに、あるいは一定の言語サポートがあれば)
- G2 以上は、数学力が当校の期待値レベルにある
- 該当する学年相応の身体的発達及び社会性が身に付いている
- KIST のミッション、ビジョンと信条を理解し、賛同している
- 高い学問的向上心のある教育に明確な考え方を持っている
- 保護者が家庭で子どものサポートを十分にでき、また学校の催しやイベントを進んでサポートする意志がある
- その他、入学基準に定められた要件を満たしている

最終結果はインタビューおよび入学試験終了後、約 1 週間後(4 月入学、8 月入学に出願される場合は除く)に e メールで通知します。結果は受験者の保護者の方のみに通知されます。いかなる事情があっても、受験者の保護者から学校に直接要請がない限り結果を教育コンサルタントや第三者に知らせることはありません。

**試験結果についての個人的なお問い合わせにはお答えいたしません。**  
**KIST はインタビューと入学試験についていかなる情報も提供しないというポリシーをもっています。**  
**願書の提出はこのポリシーを理解し、同意したことを意味します。**

### 4.02: 合否区分

選考結果には次のような種類があります。

- **入学許可** – 選考の結果合格となり、クラスの席が確保されました。**Offer of Enrollment** (合格通知)と一緒に学費の請求書が送付されます。指定期日までにお支払いがない場合、入学は自動的にキャンセルになります。
- **英語/数学サポート条件付き入学許可** – 選考の結果、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのうち一つ以上のスキル分野で言語サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。数学の試験結果が当該学年で必要とされる期待値レベルに達していない場合、数学サポートを受ける必要があるという条件付での合格としてお席が確保されました。
- **条件付き入学許可** – 選考の結果、学習面または行動面において問題点が見受けられるため条件付きでの合格となります。一定期間において当校での学習状況を確認し、必要となる条件が満たされたうえで、在籍の継続が認められることとなります。
- **不合格** – 選考の結果、不合格となりました。不合格は通常、入試規定に定められた判断基準を一つまたは複数満たさなかった結果です。
- **ウェイトイング / 英語サポート条件付きウェイトイング** – 選考の結果合格となりましたが、現在該当クラスに空席がないため、空席が出るまでお待ちください。願書の提出時期に関係なく、ウェイトイングの有効期限は願書を提出された学年度の夏期休暇の終了時までとなります。空席状況は、性別、国籍、言語の必要性といった基準により判断されます。ウェイトイング期間中に席が空いた際、学校からお知らせします。お席の確保が入学試験から 6 ヶ月以上経過した場合、最終的な判断を行う前に、出願者の現在のレベルを確認するため英語及び/または数学力の再評価を行うことがあります。この場合追加料金は頂戴いたしません。ウェイトイングの有効期限までに席が空かなかった場合、ウェイトイングは無効になります。また、空席待ちの間にお子さんの学力が入学に必要な基準を大きく下回ってしまった場合も入学許可は取り消しとなります。空席待ちの間は他の学校への入学も選択肢として検討されることをお勧めします。学校は席が空くかどうか、いつ空くかについて保証はできないことをあらかじめご了承ください。お待ちの間、いつ空きが出るかはわかりません。空席が出次第学校からお知らせいたします。その際、なんらかの理由ですぐ入学できない場合は、そのままウェイトイングリストに載せるか、または、入学をキャンセルされるかをお知らせください。ウェイトイング期間中に状況に変化があった場合はアドミッションオフィスまでお知らせくださるようお願いいたします。
- **再選考** – やむを得ない理由で、出願者を面接、入学試験日に評価判断できなかった場合、新たに日時を決め、再度入学試験を行います。特に低学年のお子さんが泣き止むことができなかつたり、ご両親と離れることができなかつたりで試験に参加できなかった場合、再選考はお子さんが落ち着かれ、試験が受けられるような状態になるまで最低 3 か月は再選考を行いません。再選考が完了するまで、最終結果は保留となり、クラスの席は確定されません。再選考が行われる前に空席が全て埋まってしまう可能性がありますのでご注意ください。

### 4.03: 合格条件

英語または数学(G2 及びそれ以上の学年)の選考結果により、クラス内で提供可能な範囲を超えたサポートが必要とされるお子さんにつきましては、平日の始業前または放課後サポートプログラムへの参加、および、または、夏休み期間中のサマー・プログラムへの参加を条件としての合格となります。サポートのレベルにより、参加を必須とするもの、参加が望ましいとされるものなど条件は異なります。エレメンタリーのサポートプログラムは LEAP (Learning Enrichment Academic Program) と呼ばれる追加サポートで、参加につきましては別途の申し込み、参加費用が必要となります。受講料は参加日回数にもよりますが、1 学期に 20,000 円から 60,000 円程度です。サマープログラムはコースにより 40,000 円から 80,000 円程度となっています。

### 4.04: 合格受理

入学許可を受けたご家族はお子さんの席を確保するために早急にお手続き下さい。入学許可書には入学金他請求書が同封されています。入学を希望する場合は請求書に記された期日までにお支払い下さい。入学許可書の有効期限は入学金支払い期日までです。期日までにお支払いがない場合は入学の意思がないものと判断し、入学許可は自動的にキャンセルとなります。一旦入学許可がキャンセルされますと再発行は致しません。また、他のウェイティングされているご家族との公正を維持するために、いかなる理由があっても払込期日の延長は致しません。さらに入学を辞退された場合は、特別な場合(たとえば、会社が転勤を命じたなど)で次のような条件が当てはまる時を除き、再度入学許可を出すことはありません。

- 該当クラスにすぐに入学できる空席がある場合
- 入学許可書に記載された入学日の前に必ずアドミッションオフィスに連絡をとること
- 学費支払い期限日までに必ず入学許可の不受理理由を知らせること

上記の条件がすべて整わない限り、再度入学許可を出すことはできません。再度入学許可が認められた場合は手数料 2,000 円が発生します。

納入された入学金は仮入学(セクション 5 参照)のお子さんが最終的に面接、入学試験で不合格になった場合(その場合、保護者の方の要請により入学金をお返し致します)を除き、理由の如何を問わずお返し致しません。保護者の方は入学金を支払い、入学をお決めになる前にご家族の状況を慎重に考慮し、スクールについて必要なことはすべてご確認下さい。

入金の確認後、入学手続き書類一式をお送りします。すべてのご家族は、登校初日までにエマージェンシー情報を含む全ての書類を提出しなければなりません。登校初日以前に全ての書類が提出されていない場合、生徒は授業を受けられませんのでご注意ください。また、入学手続き書類に記載のとおり、必ず制服フィッティングのお手続きをしていただきますようお願いいたします。

### 4.05: 入学時期の延期

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrollment Deferral** をダウンロードして、必要事項を記入の上、提出して下さい。入学時期延期願いは Offer of Enrollment に記載された初登校日までに申請して下さい。この日までに提出されなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学は自動的に取り消されます。座席を確保した延期措置を望まれる場合は、通常の入学者と同様、請求書に書かれた締切日までに学費を納めなければなりません。お支払いがない場合入学は自動的にキャンセルされます。座席を確保しない延期措置を望まれる場合は入学が確定するまで学費を納める必要はありません。

延期方法には次の 2 種類があります。

- **Secured deferral** (席を確保した上での入学時期延期) – お子さんが入学を延期する期間分の授業料と年間一般費をお支払い頂きます(バス代、ランチ代を除きます)。
- **Unsecured deferral** (席を確保しない上での入学時期延期) – 授業料未納の入学時期延期希望者に対しては席を確保出来ません。延期期間中、他の合格者が出た場合は、その時点でお子さんの席は新たな合格者に移ります。入学希望の時点で空きがない場合はその学年度末までウェイティングリストに載せることは可能です。

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrollment Deferral** をダウンロードして、必要事項を記入の上、提出して下さい。入学時期延期願いは Offer of Enrollment に記載された初登校日までに申請して下さい。この日までに提出されなかった場合は、入学の意思がないものとみなし、入学は自動的に取り消されます。座席を確保した延期措置を望まれる場合は、通常の入学者と同様、請求書に書かれた締切日までに入学金を納めなければなりません。お支払いがない場合入学は自動的にキャンセルされます。座席を確保しない延期措置を望まれる場合は入学が確定するまで入学金を納める必要はありません。

---

#### 4.06: 入学後の再審査

---

入学後に入学選考時と異なる事情が生徒に生じた場合、学校は再審査を行うことがあります。入学時に生徒の学習障害が認識されなかったのが明らかになった場合などが当てはまります。再審査の目的は生徒のニーズを認識し、学校が生徒のニーズに十分に見合った設備やスタッフを用意できるかどうかを判断するためです。そして保護者の方がその生徒のニーズに合ったサポートの出来る分野を判断するためでもあります。KIST では学習支援の専門家を採用しておりませんので、再審査において学校がその生徒のニーズに適切な対応ができないと判断した場合、残念ながら退校という措置をとらせていただきます。

---

#### 4.07: 言語再試験の申し込み

---

英語サポート付きウェイトリングの通知を受けた受験者は、6 か月以上経過後英語再試験を希望することが出来ます。再試験の結果英語力の向上が見られ、言語サポートなしに授業についていけると判断された場合、普通のウェイトリングリストに移行し、言語サポートなしの席に空席が出た時にも入学が出来ます。英語力の向上が見られなかった場合は引き続き英語サポート付きウェイトリングリストに期限まで留まることになります。言語再試験をご希望の場合は言語再試験の申込用紙をアドミッションオフィスに請求し必要事項をご記入の上お申し込み下さい。再試験費 5,000 円は試験当日現金でお支払いいただきます。ウェイトリングの期限が 6 か月を過ぎた生徒は再試験を受けられませんのでご注意ください。再試験の際、判断の対象学年は出願時の対象学年にもとづいた学年のみとなります。

---

#### 4.08: 入学試験再受験

---

受験は 1 学年度に 1 回のみ可能です。不合格になられた場合、願書提出は次の学年度までお待ち下さい。1 月から 3 月の入学希望で 12 月にインタビュー/入学試験を受けて不合格だった場合は、再受験まで 6 か月、次の学年度までお待ち下さい。翌月の 1 月に行われる 4 月・8 月入学のための試験は受けられません。



## Section 5: 仮入学（海外在住受験者のみ）

### 5.01: 仮入学

出願時に入学希望者と保護者の方が日本在住でなく、入学希望者の母国語が英語か、それに限りなく近い英語のレベルの場合は、仮入学審査を申請することができます。仮入学審査に合格しても正式の入学は、来日後に行われるインタビューと入学試験に合格した場合のみ許可されます。この制度はあくまで仮のものであり、**入学を完全に保証するものではありません**。インタビューまたは入学試験の際に、受験者または保護者に関する情報が出願書類に書かれた内容と異なることが判明した場合、仮入学は取り消されます。

### 5.02: 仮入学の出願資格

G1 以上の、母国語が英語か、それに限りなく近い英語のレベルを有し、特に英語と算数・数学において優秀な学力が証明されている希望者は仮入学審査を申請することができます。以下の状況においては仮入学での出願はできませんので通常の入学選考手順を踏まなければなりません。

- K1、K2、K3 への出願
- 英語以外の言語が母国語
- 出願時にすでに日本に在住している
- 該当学年より上、または下の学年への出願

また、以下の状況下において仮入学は許可されません。

- 出願者の教育背景、直近の学習成績、学習ニーズ、家庭状況、生活状況、その他について懸念点が生じた場合
- 同時期に出願した兄弟姉妹の仮入学が許可されなかった場合
- 出願した学年に空席なほとんど、あるいはまったくない場合
- 希望在籍期間が 1 年に満たない場合

DP プログラムは非常にアカデミック的に難しいため、G11 への仮入学の申請の可能について出願前にお問い合わせ下さい。

### 5.03: 仮入学の出願方法

仮入学受験には、通常の**入学願書**と書類及び出願料の他に、以下の書類の提出が必要です。

#### 1. 仮入学出願フォーム

本校ウェブサイトより入手可。本書には本校からお問い合わせをする場合に必要となる出願者の担当教員または学校長のご連絡先も含まれます。

#### 2. 英語での出願者の書いた英語文書サンプル

サンプル文書は出願者のライティング能力がはっきり分かるような長さのもの。出願のために別途書かれたものではなく、通常の学校課題として書かれたものでなければなりません。どの教科のものでも構いませんが、日常の出来事をつづったものではなく、教科内容に関連したもの。

#### 3. 仮入学評価用英語文書サンプルアンケート

本校ウェブサイトより入手可。文書サンプルがどのような状況下で書かれたものかを出願者の担当教諭が説明したもの。また、課題にあたって与えられた指示やサポート内容、他の大人のサポートの有無などを記載。

#### 4. 数学推薦書

本校ウェブサイトより入手可。出願者の現在、又は直近の算数・数学教師によって記入。作成の際は該当学年の用紙を使用すること。

上記の文書に加えて、受験者と保護者の方はオンライン (Skype) で英語のインタビューを受けていただくこともあります (費用は受験者負担)。学校と受験者、双方の都合のよい時間に 30 分ほど行います。

### 5.04: 仮入学の選考と合否の通知

願書提出後、通常受験者と同じ判断基準で書類審査が行われます。また、願書同様、ライティングサンプルと、数学推薦書も審査されます。仮入学希望者の書類審査は通常のものより時間がかかる場合があります。審査の結果、学校の求める条件を満たしていない、あるいは英語のレベルが入学を希望している学年のレベルまで達していないと判断された場合、仮入学は認められません。受験者と保護者の方が来日し、インタビューと入学試験を受けるまで願書は有効となりますが、合否の決定にはその時のクラスの空席状況も考慮されます。

仮入学が認められた場合、学校から仮入学許可書(Offer of Provisional Enrollment)と入学金の請求書をお送りします。お子さんの席を正式に確保し、入学の意思を明確にするためにも、入学金は請求書に記載された期日までにお支払いください。指定期日までにお支払いいただけなかった場合、入学は自動的にキャンセルとなります。他に入学を希望している受験者の方もいらっしゃいますので、お支払い期日を延ばすことはできません。

正式な入学は、お子さんの来日後に行われるインタビューと試験に合格した場合にのみ許可されます。正式に入学許可が出た場合、学費や諸経費の請求書をお送りいたします。来日後の試験の結果、学校側が正式入学を許可できなかった場合は納入された入学金を返金します。それ以外は家族の事情を含めていかなる場合も入学金は返金されません。

仮入学合格者は入学時期の延期申請を行うことはできません。

## Section 6: 生徒サポート

### 6.01: 英語言語サポート

KIST ではすべての教師が言語教師であり、言語は特定の言語活動だけでなく、カリキュラムを横断した型で指導されなければならないと認識しています。また、全ての生徒が異なる学習形態と学習ニーズを持つ個人であるということも認識しています。英語の習熟度に関しては、教員は生徒達がそれぞれの持つ能力を最大限に伸ばすことが出来るよう教室での活動計画を行っています。また、クラスでの差異化のほかにも援助が必要と判断された生徒に対し、英語サポート(ELS)が提供されています。

#### 英語サポートの評価

KIST での授業を開始する前に、生徒達に対し、英語インストラクターまたは担任・教科担任による標準英語力診断を用いた評価が行われます。本評価は読み・書き・リスニング・スピーキングに分かれています。本評価の結果は担任やインストラクターによるサポートがどの程度必要なのかを測る第一指標として用いられます。サポートを提供されている間、生徒の到達度はレベル水準指標、課題サンプル、授業参加などの観察を通して継続的に評価されます。到達度のご報告は学期毎に通知表の別表として各ご家庭に送付されます。

#### エレメンタリースクールでの英語サポート

エレメンタリースクールでは英語サポートは主に二つの重複する目的のため、K1 から G5 の英語を母国語としない生徒に提供されています。まず、自身の現在の英語力では本校のカリキュラム内容についてくるのが難しい生徒に対してはカリキュラムに含まれる概念や学習内容の理解が得られるよう、また、生徒自身が内容の理解についての表現が行えるようサポートを行います。次に、サポートは英語学習者の言語能力の発達を促進します。生徒の言語能力、学習活動、教材により、言語サポートは下記のうちひとつ、また複数にまたがった型態をとります：

- 授業への割り込み・授業からの引き抜き、もしくは指導の差異化  
割り込み・引き抜き型のサポートの混交型は、生徒がカリキュラム内容に触れながら、英語力を発達させることを促進します。引き抜き型のサポートは、英語サポート講師による個別の授業を行うため、一人、もしくは同様のニーズを持った小数の生徒達が通常の授業から引き抜かれた型で行われます。これと対照的に割り込み型のサポートは講師が担任と共に通常授業に参加する形で行われます。どちらのケースにおいても、全ての生徒がその単元の目標を達成し、授業の差異化を行うに当たり、生徒の言語ニーズや学習方法、その他の個人的な背景やニーズが満たされるよう、担任と講師が共に授業計画を立てます。生徒が、特に十分な英語力を持った仲間たちとの交流において意義ある形で最大限の言語使用の機会を持つことが出来るよう、割り込み型サポートが最も頻繁に採用されます。そのため、講師は通常の授業中に差異化された指導において適切な助言を行ったり、生徒に合った教材を使用したりします。しかしながら、ある特定の内容を復習や、技術の習得を目指すには引き抜き型がもっともふさわしいとされる場合もあります。この場合、数回の引き抜き型の授業が行われますが、このような型態の授業は通常教室での次の授業内容に戻るために必要な知識を固めるために行われる単発的なものであることが多いです。
- 言語に特化したカリキュラム並行型の活動やプログラム  
全校を通じたカリキュラム並行型の活動プログラムとして、様々な学習クラブやサポートクラスが提供されています。エレメンタリーでは Learning Enhancement Academic Program (LEAP) サポートクラスが K3 から G5 の生徒達を対象に毎日行われています。これらの 30 分の授業は様々な英語スキルに焦点を当てており、生徒は週 2 回から 5 回受講することが出来ます。人数制限があるため、最も重要な英語ニーズを持ったエイトに優先権が与えられます。

#### セカンダリースクールでの英語サポート

セカンダリースクールでは英語を母国語としない生徒、または現状の英語力では自力でカリキュラム内容に十分ついていくのが難しい生徒を対象に英語のサポートを提供しています。生徒の英語力により、言語サポートは下記のうちひとつ、また複数にまたがった型態をとります。

- 指導の差異化 (G6~G12)  
セカンダリースクールの G6~8、G11~12 では英語の指導経路は下記の通りとなります。

学年	科目	説明
G6~G8	言語と文学	英語を母語とする生徒またはそれに近く、言語サポートを必要としない生徒のための科目。文学を中心とした教科で、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてについてすでに充分習熟している必要がある。
	追加の英語集中サポートがついた、言語と文学	英語でのカリキュラム受講の際に追加サポートを必要とする生徒のために設けられたプログラム。このコースの生徒も通常の言語と文学の授業に参加し、毎週、個別でのサポートを受けるため、追加の英語クラスが調整された時間割に沿って学習します。 総括的評価及び内部診断テストにおいて高いレベルでの達成度が見られた場合、追加のサポートを終了のための推薦を受けることができます。

G9~G10	言語と文学	英語を母語とする生徒またはそれに近く、言語サポートを必要としない生徒のための科目。文学を中心とした教科で、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてについてすでに充分習熟している必要がある。
G11~G12	言語と文学 (上級レベル)	英語を母語とする生徒またはそれに近く、文学鑑賞を好む生徒のための非常に要求度の高い科目。深いレベルでの理解力と、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてについてすでに高いレベルで習熟している必要がある。
	言語と文学 (標準レベル)	英語を母語とする生徒またはそれに近く、英語への十分な理解と習熟度を持ち、より高いレベルでのリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてあるいは部分的な技術を現在発達させている生徒を対象とした科目。

註: 追加の英語集中サポートを受けている間、G6~G8 生徒は、英語の時間数増強のため美術と音楽を受講しません。それ以外の MYP 科目は他の生徒と一緒に受講します。生徒は G8 の終わりまでに追加サポートを終了することが求められます。

新入生に関しては KIST への出願時に行われる評価テストによってクラス分けを行います。G6 から G8 で言語サポートが必要と判断された生徒は、ふさわしいスキルを拾得するまで追加サポートを受けます。

学習の性質上、G11 及び G12 では教室内の英語サポートを提供しません。そのため、評価テストの結果、自身で授業についてくるのが難しいと判断された場合、入学許可が下りない可能性があります。

- 教室内の英語サポート(G6~G10)  
英語が通常の学習をこなせるレベルに達していない生徒に対し、教室内サポートが提供されます。教科担任がサポートが必要であると判断し、英語サポートコーディネーターがこれを精査し、承認した生徒はすべて教室内サポートを受けられます。教室内サポートは評価及び課題のハードルを下げる・ヒントを出すなどの枠組み、語彙に関する助言、小グループ授業、リサーチ及び評価のサポート、または必要と思われる方法を通して行われます。

講師は教科担任及びコーディネーターと協力し、生徒に最適のサポートを提供します。サポートを提供中の生徒の達成度については記録・管理されています。

- 教室外英語サポート(G6~G10)  
セカンダリースクールの生徒は入学時に、サポートが与えられれば、通常授業の支障がない、比較的高いレベルの英語能力が求められます。特別な状況下では必要に応じて教室外での引き抜きサポートが提供されます。このようなサポートは通常の授業時間外(始業前・放課後)に提供されますが、教科担任との協議の上で、授業内容の理解や復習のために講師との一対一での授業が認められることがあります。
- 言語に特化したカリキュラム並行型の活動やプログラム: アカデミックライティング(論文作成)  
セカンダリースクールで追加のアカデミックライティングのサポートが必要な生徒は 1 週間を通して追加授業を受講できます。アカデミックライティングは言語と文学を受講し、よりライティングの向上が望ましいとされる生徒を対象としています。これらのクラスは様々なジャンルのライティングの理解向上に役立ち、生徒が求められる正しい文体で文章作成ができるようサポートします。アカデミックライティングは週を通して一時間目が始まる前(始業前)に開講されています。

## 6.02: スペシャルニーズのサポート

KIST では学習支援スペシャリストを採用しておりませんので、学習、行動、精神的なスペシャルニーズを必要とする生徒の願書を受け付けることはできません。入学後にサポートが必要と判断された場合、お子さんのニーズにあった他の学校を探していただきます。

## 6.03: 慣らし保育(K1 の生徒のみ)

幼い子は様々な気持ちで学校での初めての数日を過ごします。自信に満ち溢れていて、楽しく過ごしている子もいれば、困難や不安がある子もいます。これらはたいてい親から離れるということが関係しています。初めてのことであればなおさらです。英語が母国語ではないお子さんの場合、英語の環境の学校に通い始めるということは、子どもにとってさらに難しいことにチャレンジするということになります。

学校生活に出来るだけスムーズになじむことができるように KIST では、入学時期に関係なく、K1 の新入生は慣らし保育を行っています。このことで生徒は時間をかけて徐々に学校生活になじめるようになります。入学の時期によっては、慣らし保育の型が少し異なる場合があります。

新年度の初めから KIST に入学する生徒には、10 日間の慣らし保育があります。最初の週は子供たちを 2 つのグループ

に分け、午前と午後に 1 グループずつ、短い授業を 2 つ行います。次の週には全ての生徒が長めの午前中の授業を受けます。3 週目からは普通の授業となります。

KIST に学期の途中から入学した場合、登校初日から 5 日間が慣らし保育となります。この期間中生徒は午前の授業だけ参加し、ランチタイムの前に帰宅します。生徒の様子によっては慣らし保育の期間が延長される場合もあります。慣らし保育の詳細については、入学決定後お知らせいたします。

## Section 7: 保護者

### 7.01: 保護者のサポート

よい学校というのは学習面で優れているというだけでなく、暖かく生徒を見守る学校環境、地域社会、そしてなによりご家庭との強い絆があってこそ成り立つものです。この絆は、保護者の方が、ご家庭でお子さんの学習をサポートしていただくとともに、学校の教育プログラムをお手伝いいただくことによってさらに強まると思います。KIST ではお子さんの教育や学校行事に積極的に参加していただく保護者の姿が、子どもたちのよきお手本になると信じています。

KIST では保護者が K1 から G12 までお子さんの教育に関わっていくことを強く期待しています。お子さんの学年が上がるにつれ、保護者がお子さんの学校生活のことを考える時間が様々な理由で減ってしまうことがよくあります。私たちは、子どもが成長すると、彼らが自立できるぐらいの十分な常識と技術を身につけたと思いがちです。この考え方は間違っていないかもしれませんが、セカンダリースクールに進学し、青年期に入っても子どもたちには保護者の関わりは大事だと考えています。勉強量の多いディプロマ・プログラムを受講する G11 と G12 にとっては特に保護者のサポートがとても大切です。

いくつかの年間行事へのご家族の参加は必須となっています。これらには KISTival(毎年開催される学園祭)、保護者説明会、三者面談、生徒主導型面談、ファミリーデーなどを含みます。年間行事の日程はご家族に事前に予定していただけるよう、年間カレンダーにてお知らせしております。

多くの保護者の方にはお仕事など、それぞれの都合があることは承知しておりますが、学校全体の全学年のご家族がお子さんのために学校をサポートしていただくことをお願いします。

### 7.02: スクールサポートプログラム(SSP)

出来るだけ多くの子どもたちに国際的な教育を提供するという KIST の目標を達成するためには、保護者の方のご協力が欠かせません。スクールサポートプログラム(SSP)はその目標を達成させる一つの方法です。このプログラムでは年間費を支払うか、特定のお手伝いをしていただくか選ぶことができます。これにより学校は補助人員を雇うコストを削減することができます。現在 SSP では保護者の方にバスヘルプとランチヘルプのお手伝いをお願いしています。

SSP を出来る限り公平に行うために、全ての生徒のご家族には、これらのお手伝いか、年間費として金銭的サポートをしていただくことを義務づけています。他のボランティアサポートは SSP には含まれません。さらなるボランティアサポートはそれぞれの予定に合わせてご家族独自の決定で行ってください。KIST は保護者の方のサポートに感謝しておりますが、これらのボランティアは SSP に参加したことにはなりません。毎年開催される学園祭(KISTival)でのお手伝いも義務付けられており SSP には含まれません。

入学時にこの SSP にお手伝いで参加していただくか、または年間費をお支払いいただくかを選択していただきます。入学時に選択された方法は KIST 在籍中有効です。途中で変更されたい場合はオフィスにお知らせください。

お手伝いを選択された場合は、毎年のお手伝いの回数はお子さんの数にかかわらず、当校に入学された時期をもとに決められます。お支払いを選択された場合、請求額はお手伝い 1 回あたり、25,000 円で計算されています。下の表はサポート回数、および相当寄付金額を示したものです。

スクールサポート日数と支払い費用対応表		
入学時期	お手伝い割り当て日数	支払い費用
セメスター1(8月～1月)	4	100,000 円
セメスター2(2月～6月)	2	50,000 円
	* 4 月入学の場合、1 回	* 4 月入学の場合、25,000 円

お手伝いを選択された場合、学校ウェブサイトから、年 2 回、5 月(次年度のセメスター1の分)と 12 月(セメスター2の分)に、オンラインでお手伝いの希望を受け付けます。最終的な当番表は 6 月の最終登校日(セメスター1の分)、と 1 月の最初の登校日(セメスター2の分)がメールにて配信されます。すべてのご家族にはメールで配信される当番表を必ずご確認ください。ようお願いいたします。当番表が発表されてから入学された場合は、空きがあればその時点でお手伝いをいたしますが、ない場合はウェイトリストに載ります。空きが出た場合は、メールにてお知らせいたします。

年度内に規定日数のお手伝いをしていただけなかった場合は、翌年度に持ち越されます。持ち越しは 1 回までです。退校時に未消化分が残っていた場合は、1 日 25,000 円と換算し、お支払いいただきます。これは、やむを得ない理由で急に退校される場合にもあてはまります。12 年生の 5 月の時点で残日数が有る場合も同様です(下のお子さんが引き続き KIST に在籍される場合を除く)。学校は残りの分を消化できる機会を保証することはできません。

金銭的サポートを選択されたご家庭には学年度開始までにお支払いいただく請求書を発行します。

KIST への入学を決めたということは、SSP に協力をするというを同意していただいたことになります。SSP への参加は次年度在籍の条件となります。保護者の方が時間的に貢献して下さることで、全ての生徒に利益がもたらされます。SSP や他のボランティアサポートへのご協力をよろしくお願いします。

### 7.03: 保護者の関わる学校行事など

スクールサポートプログラム以外にも、KIST では保護者の方に様々な行事に参加していただきます。これらの行事には以下のものが含まれます。

#### 1. Parent welcome nights: 保護者説明会

学年度の初めに行われるこのセッションでは、保護者の方にその学年度の説明を行います。保護者の方はこの機会に担任に会い、新しいクラスでの決まりごとや、求められていることを知ることができます。

#### 2. Parent/Teacher/Student interviews: 三者面談

セメスター1に行われるこの面談では、お子さん、保護者の方、教員が、お子さんの勉強の成果について話し合う機会を提供します。新学年への取り組み方や、年間の学習や行動の目標について話し合います。

#### 3. Student led conferences: 生徒主導型面談会

保護者の方には、それぞれのお子さんの評価の一環としてこの面談会には必ず出席していただきます。セメスター2に行われるこの生徒主導型面談会を通して、お子さんは、日ごろの勉強の成果を保護者の方にお見せできるだけでなく、自分の勉強の進み具合を自分で管理する責任を学ぶことができます。他の人に自分が学んだことを説明することで、より理解が深まるのです。

#### 4. Class parents: クラスペアレンツ

エレメンタリースクールでは、担任や学校から依頼があった際、クラスの取りまとめやサポートを行う役目として各クラスで「クラスペアレンツ制度」をとっています。通常各クラス 1-2 名の保護者のボランティアをお願いしています。

#### 5. KISTival Leader: KISTival リーダー

KISTival(スクールフェスティバル)での学年ブースの運営を取りまとめるリーダーです。エレメンタリー及びセカンダリーの各クラス、通常 1-2 名のボランティアの保護者の方をお願いしています。この役割を全うして下さった保護者の方にはスクールサポートプログラム(SSP)のポイントを設定する場合があります。

#### 6. Excursions: 遠足、課外授業

お子さんのクラスの遠足や課外授業に保護者の方に参加していただくことがあります。これは、お子さんたちと一緒に未知の世界を探索し、新たな発見を得るといった絶好の機会となります。

#### 7. Parent information sessions: 保護者のための学習会

インターナショナルバカロレアのプライマリーイヤープログラム、ミドルイヤープログラム、ディプロマプログラムに準拠した本校のカリキュラムをより理解いただき、お子さんの学習を積極的にサポートしていただくために、当校では、保護者の方を対象としたカリキュラムや評価法についての勉強会を年間を通して開催しています。

#### 8. KIST Community Association (CA)

すべての保護者の方はお子さんの在籍中コミュニティアソシエーション(保護者会)の会員となります。年度の初めにその年の会費を集めます。CA ではボランティア活動や金銭的サポートを通して学校の発展に寄与していただき、スクールコミュニティのコミュニケーションを促進します。保護者の方には役員会や、その他の準備委員会などを通して、CA の積極的に活動していただきたいと思えます。この役割を全うして下さった役員及び委員長にはスクールサポートプログラム(SSP)のポイントを設定する場合があります。

#### 9. KISTival: キスティヴァル (スクールフェスティバル)

毎年原則として 10 月第 4 土曜日にスクールフェスティバル、KISTival が行われます。スクールフェスティバルの収益は、学費では賅うことのできない設備の充実、学校の教育環境向上のために取り組む特別プロジェクト等に使われます。日々進歩する学習プログラムを補うため、これらの充実は不可欠です。そのためスクールコミュニティが協力してフェスティバルを成功させ、出来る限り多くの収益をあげる必要があります。全ての保護者の方に前日の準備と、当日の売り場のお手伝いが義務付けられています。食べ物、商品の提供、販売する食べ物の材料、運営費などの寄付をお願いします。公平を期すため、前日準備及び・または当日お手伝いいただけないご家庭には実働の代わりにご寄付にて

貢献していただきます。

#### **10. Family Day: ファミリーデー**

KIST コミュニティーの親睦をはかることを目的に、毎年 5 月の土曜日にファミリーデーが開催されます。当日は、お子さん、保護者の方、教職員と共に、競技や楽しく体を動かすアクティビティーに参加します。また、学年度終了間近に行われるこのイベントでは、翌年度に向けたインフォメーション等の発表も行われます。教職員や他の保護者との交流の良い機会を提供いたします。



## Section 8: 学費

### 8.01: 2019-2020 授業料

KIST は、恵まれたものだけが国際的な教育を受けられるのではなく、様々な社会的背景の生徒が入学できるよう、常に学費について配慮しています。当校は日本国政府から助成金を受けていないため、ほぼ学費の納入のみからなる年度ごとの資金運営を行っております。学費は、物価や人件費の定期昇給分の上昇を吸収するため毎年一定額の改定があります。それ以外に急激な物価変動や教育政策の大幅な改革など、更なる改定が生じる場合は、出来るだけ早い段階で保護者の皆さまにお知らせいたします。

#### 学費

種類	学年	金額	支払い時期
入学検定料		¥20,000	出願時
入学金	全学年	¥300,000 (再入学時: ¥60,000 <sup>1</sup> )	入学時のみ
施設拡張費	全学年	¥600,000 (再入学時: ¥120,000 <sup>1</sup> )	
授業料	K1 – Grade 5	¥1,950,000	年額
	Grade 6 – 12	¥2,000,000	
施設維持費	全学年	¥100,000 <sup>2</sup>	
CA(保護者会)費(家族ごと)		¥2,000	
IB DP 試験検定料	Grade 12 のみ	¥160,000	9月15日: ¥80,000 12月15日: ¥80,000
プログラム進学費 <sup>3</sup>	Grade 1、Grade 6、Grade 11 進学時	¥3,000	進学した際

#### その他の費用

種類	学年/書式	金額	支払い時期等
各種書類作成費用	在学証明書 <sup>3</sup>	¥1,000	1 通
	在籍期間証明書 <sup>3</sup>		
	推薦書、学校調査票、その他書類 <sup>4</sup>		
	成績表再発行		
	請求書再発行		
IDカード(Edy Card)再発行		¥2,000	1 枚
入学試験料 <sup>5</sup>	全学年	¥5,000 から	1 回/1 時間
入学テスト再試験料 <sup>6</sup>		¥5,000	1 回
入学許可再発行費 <sup>7</sup>		¥2,000	発行時
IB DP 試験 再審査費用		¥20,000 から	受験する試験毎

<sup>1</sup> 3年以内に KIST に再入学する際には割引料金となります(退校の日付から 1・2・3 年以内に再入学する生徒。退校から 4 年目に再入学する生徒には適用されません)。

<sup>2</sup> 4 月以降から入学する生徒の場合は減額されます。

<sup>3</sup> 様式がいろいろありますので、必要な場合はオフィスにご相談ください。

<sup>4</sup> 転校先からの指定書類がある場合はお問い合わせください。

<sup>5</sup> 海外の学校に転校される際に KIST で行われる転校先の入学試験実施費用。試験の送料は別途請求します。

<sup>6</sup> 英語サポート条件付きでウェイトンだった場合の再試験。

<sup>7</sup> 入学許可を辞退した後に入学許可を再発行する場合。

### 8.02: 学費減免制度

学校のミッションや信条に沿い経済的にサポートが必要な方に配慮するため、学費減免制度を設けております。

**対象者:** K2 から G12 の生徒 ※K1 を含む新入生は対象となりません

**申込条件:** 日本国内にて発行された収入証明書または納税証明書が提出でき、世帯収入が日本政府によって実施されている高等学校等就学支援金受給対象であること等、詳細はオフィスにお問い合わせください。また、他の割引(家族割引、年間一括払い割引)との併用はありません。毎年申請が必要です。本制度対象生徒は、G1、G6、G11 への進学時に通常の進学審査の他、追加審査があります。

**減免金額:** 学費値上げ分のうち、スタッフ人件費の定期昇給分にあたる分を除く額が減免対象となります。

### 8.03: 支払オプション

8 月の新学年度から入学した生徒の学費は一年分を一度にまとめてお支払いいただく(年間一括払い)か、3 回に分けて(分

割払い)お支払いいただきます。一括払いの場合は割引があります(条件有り)。その他の時期に出願された場合は、合格通知日から2週間以内にお支払いいただきます。お子さんの登校初日が2週間以内の場合は、登校初日までにお支払いください。

### 1. 年間一括払い

この支払方法は新学年度から入学する生徒のみに適応されます。1月に入学試験を受け、4月または8月に入学される方の支払期限は、セクション 3.02 をご覧ください。8月から入学するためにセメスター2に出願された場合は、合格通知日から2週間以内にお振込にてお支払いいただきます。お子さんの登校初日が2週間以内の場合は、登校初日までにお振込にてお支払いください。年間一括払いの金額は下記の表のとおりです。会社払いと支払期限を過ぎてのお支払の場合、学費減免制度の適用を受けている場合授業料割引はありません。

K1 – Grade 5	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥600,000
授業料	¥1,950,000
施設維持費	¥100,000
CA 費 <sup>1</sup>	¥2,000
計	¥2,952,000
割引額	¥19,500
支払額	¥2,932,500

<sup>1</sup> CA 費は家族ごととなります。

Grade 6 – 12	
入学金	¥300,000
施設拡張費	¥600,000
授業料	¥2,000,000
施設維持費	¥100,000
CA 費 <sup>1</sup>	¥2,000
IB DP 試験検定料(G12)	¥160,000
計	(G6-11) ¥3,002,000 (G12) ¥3,162,000
割引額	¥20,000
支払額	(G6-11) ¥2,982,000 (G12) ¥3,142,000

### 2. 分割払

授業料のみ分割払いができます。その他の費用(入学金、施設拡張費、施設維持費と CA 費)は初回に全額をお支払いいただきます。お支払い方法はお振込となります。1月に入学試験を受け、8月に入学される方は3回分割になります。最初のお支払日はセクション 3.02 にあるとおりで、入学金、施設拡張費、施設維持費、CA 費と授業料の一部をお支払いいただきます。2回目は9月15日、3回目は12月15日までにお支払いいただきます。下の表にまとめましたので、ご覧ください。

K1 – Grade 5			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	Feb. 20 <sup>1</sup>	Sep. 15	Dec. 15
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥600,000		
授業料	¥780,000	¥585,000	¥585,000
施設維持費	¥100,000		
CA 費 <sup>2</sup>	¥2,000		
計	¥1,782,000	¥585,000	¥585,000
支払額	¥2,952,000		

Grade 6 – 12			
	第一回	第二回	第三回
支払期限	Feb. 20 <sup>1</sup>	Sep. 15	Dec. 15
入学金	¥300,000		
施設拡張費	¥600,000		
授業料	¥800,000	¥600,000	¥600,000
施設維持費	¥100,000		
CA 費 <sup>2</sup>	¥2,000		
IB DP 試験検定料 <sup>3</sup>		¥80,000	¥80,000
計	¥1,802,000	(G6-11) ¥600,000 (G12) ¥680,000	(G6-11) ¥600,000 (G12) ¥680,000
支払額	(G6-11) ¥3,002,000 (G12) ¥3,162,000		

<sup>1</sup> K3のお支払のみ2019年3月1日までが期限となります。

<sup>2</sup> CA 費は家族ごととなります。

<sup>3</sup> IB DP 試験検定料はG12のみが対象となります。

1月の入学試験期間以降に試験を受けた方の第一回の支払期限は合格通知日より2週間以内となります。第二回、第三回の支払期限は上記の通りです。

2年日以降の分割払い期限は次の表のとおりです。授業料は3分割された金額を、その他の費用は第一回支払期限5月15日までにお支払いください。お支払いの詳細については、3月に各ご家庭に通知します。もし各15日が土日祝日の場合は、翌日銀行営業日が支払期限となります。

学費	支払期限
第一回	5月15日
第二回	9月15日

## 8.04: その他の費用

着用が義務付けられている制服の購入、スクールバスやスクールランチの費用、教科書(必要に応じて)代、キャンプへの参加費などの請求書は別に送られます。各代金のお支払い方法は指定口座へのお振込となります。

1. **制服** **80,000 円から**  
 KIST では全校生徒に制服の着用が義務付けられています。制服は受付で販売しています。制服には夏服と冬服があり、体操服もあります。

2. **スクールバスサービス** **年間 108,000 円 – 324,000 円**  
 KIST では、限られた範囲で生徒の登下校用にスクールバスを提供しています。このバスサービスは、時間とコストに無理のない範囲のルートに限って提供されています。スクールバスは利用者が支払いをするシステムで、登録者のみが利用することが出来ます。バスルートや停留所は毎年見直され、変更される場合があります。そのため、現行のバス停の近くへの引越しを検討されている方はご注意ください。バス停の決定権は原則的に学校にあり、個人の要望に応じて調整を行うことは出来ません。

スクールバスの座席数は限られているため、**バスサービスに申し込まれた全てのお子さんにご利用頂けるとは限りません**。空席がない場合、おписはウェイティングリストに載せられ、空席が出次第、申し込み順で利用のご案内をさせていただきます。

バスは、往復または片道をご利用いただくことができ、3 期にわけての請求となります。片道は、午前または午後の決められたどちらかでの時間帯でのご利用となり、曜日ごとのスケジュールなどでのご利用はできません。スクールバスは生徒のみとなります。保護者の方は利用できません。( )内は 8%の消費税込みの金額です。特定の曜日のみバスを利用する生徒を対象とする割引はございません。

	往復	片道
<b>Pink Bus バス停 (Roppongi/Hiroo/Tokyo route)</b>		
(港区): 六本木 1 丁目、弁公園、天現寺、芝公園(朝のみ)	30,000 円 (32,400 円)/月	15,000 円 (16,200 円)/月
(中央区): 東京駅八重洲口	20,000 円 (21,600 円)/月	10,000 円 (10,800 円)/月
<b>Blue Bus バス停 (Toyosu route)</b>		
(江東区): 東雲、豊洲	20,000 円 (21,600 円)/月	10,000 円 (10,800 円)/月
(中央区): 勝どき、月島	20,000 円 (21,600 円)/月	10,000 円 (10,800 円)/月
<b>Orange Bus バス停 (Shin-Urayasu/Toyochō route)</b>		
(浦安市): ベイモール	27,000 円 (29,160 円)/月	13,500 円 (14,580 円)/月
(江戸川区): 西葛西	20,000 円 (21,600 円)/月	10,000 円 (10,800 円)/月
(江東区): 東陽町	20,000 円 (21,600 円)/月	10,000 円 (10,800 円)/月

3. **スクールランチサービス**  
 スクールランチのオーダーはオプションです。学校で用意されるランチはオーガニック、又はオーガニックに近い素材を使用した、栄養バランスのとれたものを提供しています。アレルギーやダイエット食等の特別食には対応することはできません。スクールランチのオーダーと支払いは学校の長期休暇に合わせて年 3 回(8 月から 12 月分、1 月から 3 月分、4 月から 6 月分)です。週のどの曜日にオーダーするか選ぶこともできます。合計額は週何回ランチをオーダーするかによって異なります。( )内は 8%の消費税込みの金額です。  
 幼稚園サイズ 470 円(507 円) / エレメンタリーサイズ 570 円(615 円) / セカンダリー サイズ 620 円(669 円)

4. **教科書**  
 セカンダリースクールでは教科によって、教科書が必要となります。各ご家庭に必要な教科書をご購入ください。お子さんが選んだ科目や年度によって、教科書と教科書の値段が変わることがあります。エレメンタリーでは K2 から G5 の生徒まで算数のワークブックが必要になります。各ご家庭に必要な教科書をご購入ください。詳細は入学時にお知らせします。

5. **ビフォーケア・アフターケア(K1 から G2 のみ)**  
 保護者の方のお仕事その他の都合で、通常のスクール終了時間より長く、または登校時間より早く学校にいる必要のあるお子さんを対象にビフォーケア及びアフターケアを提供しています。お預かりできる人数に限りがありますので、別途学校の定める優先基準に従ってお受けいたします。ビフォーケア・アフターケアの利用料金は下記の表の通りです。

月途中からの利用・月途中での解約でも、一ヶ月分の料金となります。いかなる理由があっても、キャンセル、欠席、休校等でご利用いただかない分のディスカウント、返金はございません。なお、(学校カレンダーに記載のとおり)ビフォーケア・アフターケアを提供できない日がある場合がございますので、ご了承ください。

		月	火	水	木	金
ビフォーケア	Session 1	7:30 – 8:40	7:30 – 8:40	7:30 – 8:40	7:30 – 8:40	7:30 – 8:40
アフターケア	Session 1	2:45 – 5:00	3:30 – 5:00	3:30 – 5:00	3:30 – 5:00	3:30 – 5:00
	Session 2	5:00 – 6:30	5:00 – 6:30	5:00 – 6:30	5:00 – 6:30	5:00 – 6:30

**ビフォーケア**

回数/週	学期毎の費用
5	¥63,000
4	¥50,400
3	¥37,800
2	¥25,200
1	¥12,600

**アフターケア**

回数/週	学期毎の費用		
	Session 1	Session 2	両セッション参加の合計
5	¥135,000	¥162,000	¥297,000
4	¥108,000	¥129,600	¥237,600
3	¥81,000	¥97,200	¥178,200
2	¥54,000	¥64,800	¥118,800
1	¥27,000	¥32,400	¥59,400

**6. 学力テスト**

学年によって、学年度内に学力テストを実施いたします。実施するテストは下記の表のとおりです。なお、海外のオフィシャルテストを利用しますので、テスト料金は為替相場によって変動します。料金はその都度ご家庭にお知らせいたします。

テスト	対象学年
International Schools' Assessment (ISA)	3 から 9
IGCSE Mathematics Test	9 及び 10

**7. 超過料金**

お子さんを引き取る時間に 10 分以上遅れた場合、超過料金として 1,500 円をいただきます。これは K1 から K3 のお子さんと保護者の方のお迎えが必要とされている他の学年のお子さんが対象です。また、スクールバスをご利用のお子さんも対象となります。この超過料金は当日のお迎え時(バス利用者は翌日)に学校オフィスにて現金でお支払いください。

**8. 生徒持ち込みノートパソコン**

G9~G12に在籍する生徒は Windows 対応のノートパソコンを購入し、自宅で充電の上、毎日持参することが必須となっています。当校では Windows 対応のパソコンのみを使用していますので、Windows 対応パソコン(最低限 Windows 8、Microsoft Office 2013 以降のバージョン)を学校 Wi-Fi に接続することが許可されます。生徒が持参するすべてのコンピュータは入学時に提供される KIST 学生ノートパソコンガイドラインに従っていることが求められます。

**9. 言語個人学習コース(DP のみ)**

G11、12 の生徒で言語の個人学習コースが必要とされる、または選択されるお子さんにつきましては、各自で個人指導、サポートにあたる家庭教師の費用をご負担いただきます。

**8.05: 授業料に含まれているその他のサービス**

以下のサービスが授業料に含まれます。これらは別途で請求されることはありません。

**1. 教室内言語サポート (K1 から G10)**

教室内での言語サポートは、適切な英語能力を習得するために追加でのサポートを必要とする生徒に提供されます。

**2. カリキュラムを補うアクティビティー(クラブ活動)**

G1 以上の生徒には、リーディング、ライティング、模擬国連、バレーボール、サッカー、バスケットボール、ダンスなど、勉強やスポーツ又は文化的なさまざまな課外活動を、一年を 2 期に分けて提供しています。これらの活動は、火曜、水曜、木曜、金曜日に提供され、エレメンタリーは 3 時 30 分から 4 時 30 分まで、セカンダリーでは 3 時 50 分から 5 時 00 分/6 時 00 分までとなります。4 時 30 分にクラブを終了する生徒はスクールバスを利用できますが、5 時 00 分/6 時 00 分にはスクールバスは運行されていません。人数に限りのあるアクティビティもありますので、生徒が希望しているアクティビティに参加することができない場合があります。対抗試合・リーグ戦を伴う運動部への参加を希望する場合、リ

ーグ参加費用(審判費用、コーチへの謝礼、トーナメント参加費、メンバーシップ費用等)を賄うための参加費をお支払いいただきます。この参加費は一期あたり 8,000 円を超えることはありません。

## 8.06: 支払い遅滞のペナルティ

全ての費用はそれぞれの請求書に記載してある期限にお支払ください。支払い期限を過ぎてしまった費用に関しては、2,000 円の延滞事務手数料を請求させていただきます。お支払が遅れることが予想される場合は必ず事前に経理部(accounts@kist.ed.jp)までメールにてご連絡ください。支払期日が休暇中の場合も、期日までにお支払頂きます様あらかじめ手配をお願い致します。支払いが遅れていることを学校に知らせなかった場合、その支払が行われるまで、お子さんは授業に参加することができません。このようなことが続く場合、お子さんが続けて在学できるか検討される場合があります。また、その生徒の兄弟姉妹の入学にも影響がでる可能性があります。

## 8.07: 授業料の割引

KIST では、新規に G10 または G11 に入学を希望し、特定の要件を満たした生徒に **Future Horizons 奨学金プログラム** を通し、奨学金を提供します。詳細は学校ウェブサイトからご覧いただけます。その他にも下記記載のとおり、学費に関するいくつかの割引制度を設けています。

### 1. 家族割引

学校に 3 人以上のお子さんを通わせている場合、30%の割引が適用されます。お子さんの一人は Grade 1 以上の学年に在籍してはなりません。全ての生徒が K1~K3 に在籍している場合は割引が適用されません。割引は 3 人目以上のお子さんの授業料のみとなります。また、学費減免措置の適用を受けている場合は割引の対象になりません。なお、保護者の勤務先が学費を支払っている場合もこの割引は適用されません。スクールバスを含め、それ以外の費用の割引はございません。

	K1 – Grade 5	Grade 6 – 12
年間授業料:	¥1,950,000	¥2,000,000
30%割引:	¥585,000	¥600,000
合計:	¥1,365,000	¥1,400,000

### 2. 年間一括払いの割引

新年度の開始前に、一年分の授業料を一括してお支払いいただく場合は 1%の割引が受けられます。この割引制度は、年度途中の入学には適用されません。また、保護者の方がお支払いいただく場合のみ適用され、保護者の勤務先払いには適用されません。上記の家族割引(3 人目のお子さんの授業料の割引)を受けているご家庭、および、学費減免制度を受けているご家庭は、この割引を受けることはできません。また、支払期限を過ぎてのお支払の場合も適用されません。

	K1 – Grade 5	Grade 6 – 12
年間授業料:	¥1,950,000	¥2,000,000
1%割引:	¥19,500	¥20,000
合計:	¥1,930,500	¥1,980,000

### 3. 再入学者特別金額

入学金および施設拡張費は当校への入学時のお支払いとなりますが、一度退校して再度入学した場合は、もう一度お支払いいただく必要があります。ただし、退校後 3 年以内に再入学される場合には減額措置があります。3 年を超える場合は減額措置の対象にはなりません。

### 4. 学期途中の入学と退校

学期途中の入学、退校の時期によっては、最初、又は最後の学期の授業料について所定の計算方法による減額制度があります。ただし新生は入学日に関係なく、当校に入学した月初めからの分を全額支払わなくてはなりません。退校者は在籍した最後の月までの授業料をお支払頂いたのちに所定の計算方法による返金を致します。これらは授業料のみの減額制度です。スクールバス費用については最後に乗車した翌月分からのバス代を月割計算にてお戻しいたします。その他費用やその他学校で提供されているサービスには 4 月から 6 月入学者の施設維持費が 50,000 円になる以外減額制度はございません。

## 8.08: 返金規定

入学検定料と入学金は返金できません。ただし、仮入学審査で合格した後、試験の結果で不合格になってしまった場合は、

入学金は返金します。それ以外はいかなる場合でも入学金の返金はいたしません。

セクション 8.01 にある授業料や諸費用(入学検定料と入学金は除く)は、日本時間における初登校日前日までにメールにて入学辞退の連絡があった場合のみ払い戻し可能です。

病気やその他個人的な理由により欠席した場合の費用の減額や免除はありません。また、学校の管理の及ばない状況下により休校となった場合の費用の減額や免除もありません。これは極端な悪天候や自然条件(地震、火災、洪水など)、テロ等人的災害、交通機関の運行不全、ストライキ、流行・伝染性の病気の発生、その他の類似の状況の際に適用されます。

スクールバスの利用を中止した場合は、最後にバスに乗車した翌月分からお支払いいただいた残存期間のバス代を月割りにて払い戻しいたします。

スクールランチサービスは外部業者に委託しております。スクールランチサービス費は年三回、全額を事前にお支払いいただけます。食材手配の都合上、一旦お支払いいただいたランチ代は返金できません。これは、欠席、遠足、キャンプ、休校、早退によってランチを食べられなかった場合や、期間内に退校された場合にもあてはまります。

制服や学校で購入した物品は、未着用・未使用で包装も残っていて、購入後 1 週間以内のみ、返金または交換が可能です。ただし、一旦袋から取り出した長袖と半袖のボタンダウンシャツの返品および交換はできません。その他の費用はすべて払い戻しできません。

なお、保護者の勤務先にお支払いいただいている場合は、そちらへの返金のみとさせていただきます。各ご家庭への返金はしかねますのでご了承ください。